

## 地域リポ！ ～『わが街の名物コーチ（朝日ヶ丘小学校区）』～

芦屋市内の地域でスポーツに関する活動を行っている人や団体を紹介するコーナー（第3弾）です！  
今回は朝日ヶ丘コミスクに所属する朝小スポンジボールテニスクラブで、長年子ども達を指導して  
おられるほんだはるやす本田陽保さん取材させていただきました。

### ① 指導歴及び指導者を志したきっかけは何ですか？

2007年頃から、小谷さん（元芦屋市体育指導委員）の助手として始めて17年目になります。

### ② スポンジボールテニスの魅力は？

スポンジボールテニスは1985年頃に西宮で誕生したスポーツで、今では全国大会を開催する程の広がりを見せています。これを1993年に芦屋在住の小谷さんが習得され、朝日ヶ丘コミスクに紹介したのが芦屋での始まりです。現在、小学校1年生から90歳までの幅広い年代の方が楽しんでおられますが、そこが一番の魅力です。

### ③ 指導をする上でのこだわりは？

昔と比べて今の生徒は、汗を流して体を動かすことが少ないと思います。なので、精一杯球を追いかけて運動神経を自然に習得してほしいですね。

### ④ 指導者を続けていて良かったことは？

子ども達とプレーして、私自身が若返ることでしょうか。

### ⑤ これからの展望

少子化とコロナ禍で色々な事が中断しましたが、また対外試合などを計画したいですね。



本田 陽保さん  
朝小スポンジボール  
テニスクラブ コーチ



柄の短い専用のラケットを使用する。



あえて生徒に指導を任せる時間  
も作っている。



スポンジのボールを使用するので、  
安心して思い切り打つことができる。



コートはバドミントンと同じ広さ。  
普及のための工夫がなされている。



朝小スポンジボールテニスクラブ  
の皆さん、快く取材に応じて頂き、  
ありがとうございました。

### 《編集後記》

三条地域の体力測定会に参加しておられた皆さま、朝日ヶ丘小学校コミスクの本田コーチとお会いして感じるのには月並みな表現ですが「若くてお元気だ」ということ。元気の秘訣は、スポーツを楽しむことで健康を維持しておられることはもちろんですが、スポーツを行う場、すなわち「ご自身のコミュニティ・居場所がある」ことも大きいのではないのでしょうか。

少子高齢化が進む我が国においてスポーツの果たす役割は大きく、まだまだ発展の余地があるのではないかと感じております。スポーツ推進委員として、市民の皆さまのために何が出来るか、これからも考え続けて行きたいと思っております。